

2009年6月2日

報道関係者各位

株式会社ツバルの森

## ～資生堂 株主・投資家向け活動のグリーン化を実施～

### 株主総会の会場運営と株主・投資家向け冊子印刷の環境負荷を ツバルの森のグリーン電力証書を利用してカーボン・オフセット

環境コミュニケーション会社である株式会社ツバルの森(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三嶋浩太、以下「ツバルの森」)は、株式会社資生堂の株主・投資家向け活動におけるグリーン化(環境負荷低減)にグリーン電力証書「ツバルネイチャーパワー」を提供することになりましたのでお知らせします。

資生堂では、今回のグリーン化を図るため、下記①～④で排出されるCO<sub>2</sub>を、

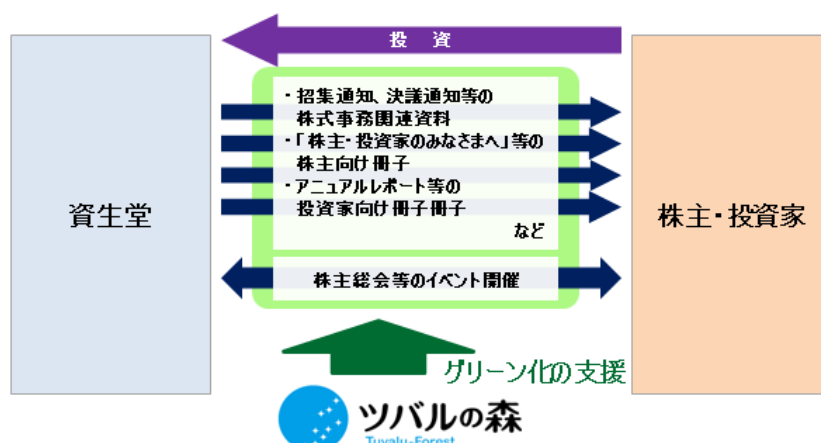
- ① 2009年度の定時株主総会の会場で消費する電力
- ② 招集通知、決議通知等の株式事務関連資料の印刷で消費する電力
- ③ 「株主・投資家のみなさまへ」等の株主向け冊子の印刷で消費する電力
- ④ アニュアルレポート等の投資家向け冊子の印刷で消費する電力

ツバルの森が提供するグリーン電力証書「ツバルネイチャーパワー」(約3万6千kwh)を利用することでカーボン・オフセットします。

企業や消費者の環境意識の高まりに加えて、投資家が企業の投資判断の一つとして、環境への取り組みを重視するようになってきていることから、上場企業の株主・投資家向け活動に、環境配慮の取り組みが広まってきております。今後、株主参加型の環境貢献活動、株主通信の冊子制作や株主総会のイベント開催などで、グリーン電力証書などのカーボン・オフセットを取り入れる企業は今後さらに増えていくと考えられます。

ツバルの森では、環境貢献を通じて企業とステークホルダーとのよりよい関係づくりに貢献できるコミュニケーション活動の企画を積極的に提案していきたいと考えています。

(グリーン化のイメージ図)



<グリーン電力証書について>

太陽光や風力などの CO2 を排出しない自然エネルギーで発電されたグリーン電力は、電力そのものの価値に加えて、CO2 を排出しなかった環境価値を併せ持っています。環境価値の部分を切り離し、証書として取引できるようにしたものがグリーン電力証書です。団体や企業は電力会社から購入する電力に加え、グリーン電力証書を組み合わせることで、消費電力が環境にやさしいグリーン電力によるものとみなすことができます。そして、グリーン電力証書の対価が自然エネルギーの発電事業者へ還元されることで、日本国内における自然エネルギーの普及促進、CO2 排出削減に貢献することができます。



ツバルの森のグリーン電力証書  
「ツバル-ネイチャーパワー」

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ツバルの森 広報担当 生川(なるかわ) TEL. 03-6380-9939